

2016年を振り返って

明けましておめでとーございませう。

新年最初のミニ通信では、帯広開発建設部の2016年を振り返ってみたいと思います。

昨年は十勝管内において、連続台風による史上最大規模の水害が発生し、年末には高病原性鳥インフルエンザが確認されるなど、災害に見舞われ続けた1年だったように感じられます。

当部にとっても災害に立ち向かい続ける1年でした。4月早々には平成28年熊本地震の応援のため、当部からTEC-FORCEを派遣し、支援に当たりました。8月から9月にかけては、観測史上初めて北海道に台風が3つ上陸し、十勝管内にも大きな爪痕を残していきました。その影響は凄まじく、現在でもその被害の大きさを見てとれます。当部では災害対策本部を立ち上げ、夜を徹した作業に当たりました。

そんな大変な1年のなかで、明るいニュースもありました。台風の影響で現在もなお不通となっている国道274号日勝峠について当初は工事車両の進入も困難だったため調査が進まず開通の見通し不透明でしたが、工事車両の進入経路の確保により調査が進んだことにより、今秋の開通が目標であることを発表しました。また、十勝と北見間の交流促進や利便性の向上が期待される十勝オホーツク自動車道の建設も進んでいます。

2017年は、より明るい話題で溢れるように願いながら、業務に取り組んでいきたいと思えます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



災害対策本部の活動



グリーン・キャンパス・21



災害対応への感謝状授与



完成が待たれる
十勝オホーツク自動車道



復旧作業が進む日勝峠



[Web広報誌に戻る](#)